

No. 47

# 9月定例会

平成28年11月22日

## 目次

- 議案等審議結果・市長所信表明  
…………… 2～3
- 代表質問  
…………… 4～6
- 一般質問  
…………… 7～10
- 委員会報告  
…………… 11～14
- 常任委員会行政視察  
…………… 15
- 議会活動日誌・編集後記  
…………… 16

# やまなし 市議会 だより

平成27年度一般会計・特別会計・企業会計  
歳入歳出決算を認定しました。



複合施設化を行い、諏訪公民館、牧丘町総合会館、牧丘支所などが一体化した。

# 9月定例会の概要

市長から提案された条例改正、補正予算、平成27年度一般会計・特別会計・公営企業会計の歳入歳出決算認定など26件及び請願2件の審議を行いました。

## 望月市長の所信表明

### おもな事業の報告

#### 議案第70号

山梨市立保育所設置及び管理条例の一部を改正する条例について

現在休園している市川保育園について今後の再開が見込めないことから、廃園とするための改正をしようとするものです。

#### 議案第73号

平成28年度山梨市一般会計補正予算(第2号)

新規事業として、市役所本庁舎西館空調及び照明設備の更新に係る実施設計費604万円余、セキュリティ強化対策の実施費用6,224万円余、B型肝炎定期予防接種の委託料318万円余などです。事業の見直しとして、高齢者インフルエンザ費用助成事業の追加336万円余、市役所前通り線電線類地中化整備事業の追加2,290万円などです。

#### 議案第81号

字の区域の変更について

山梨市駅前区画整理事業に伴う、土地の扱いが確定したので、字の区域を変更するものです。

#### 議案第82号

平成27年度山梨市一般会計歳入歳出決算認定について

歳入総額は206億6,392万円余で、前年度に比べ13.6%の増です。歳出総額は、194億467万円余で、前年度に比べ15.1%の増です。翌年度への繰越財源を控除した、実質収支額となる繰越金は、10億2,448万円余となっています。

#### ●市民会館耐震改修大規模改修、及び新市立図書館整備事業

市民会館が10月15日、新図書館は11月3日にオープンする予定です。市民会館は耐震性能の確保、利用状況に合わせた整備、新図書館は人々が集い交流する施設となるよう整備を進めてきました。

#### ●牧丘庁舎複合施設改修事業

1階に牧丘支所、公民館、総合会館の窓口、つどいの広場たち牧丘を併設し、商工会牧丘三富支所事務所が入居します。2階には、会議室、多目的室等を設置し、10月11日から開所します。

#### ●国土強靱化地域計画の策定

いかなる自然災害が発生しようとも、一人の犠牲者も出さないまちづくりを目指し、速やかに災害を復旧・復興できる強さとしなやかさを持った安全・安心な地域の構築をしていきます。

#### ●市道野背坂線の開通式

合併前の旧山梨市と牧丘町がひとつとなる道路として、地域から早期の開通が望まれていました。開通式を10月15日に行い、供用開始します。

#### ●学校給食センター建設

建設用地である旧果樹試験場の売買契約を締結しました。地元区長をはじめ隣接する住民の方々に事業説明をさせていただきました。平成30年9月の稼働を目指しております。

#### ●笛川小学校大規模改修事業

8月末には内部工事が終了し、9月中旬には外部工事も終了します。子ども達が快適な環境で学校生活を送ることを期待します。

#### ●第2次山梨市水道ビジョン

厚生労働省が公表した新水道ビジョンに基づき、本市が直面する様々な課題の解決に向けた実現方策を含め、今後10年間の進むべき方向性を取りまとめました。

#### ●B型肝炎の定期予防接種化

定期接種で全ての乳児に接種し、感染を予防するようWHOが推奨したことを受け、厚生科学審議会がB型肝炎ワクチンを10月から定期予防接種にすることを了承したことにより、必要な経費を上程しました。

# 平成28年9月定例会議案等審議結果 (会期: 9月1日から9月29日)

## 9月定例会議案等審議結果 (議長を除く)

(賛: 原案に賛成 反: 原案に反対)

議案 番号	件名	議員名														審議 結果			
		三 枝 正 文	根 津 和 博	武 井 寿 幸	乙 黒 泰 樹	矢 崎 和 也	土 屋 裕 紀	村 田 浩	深 沢 敏 彦	大 竹 裕 子	木 内 健 司	大 村 政 啓	飯 嶋 賢 一	古 屋 忠 城	吉 田 昭 男		雨 宮 巧	小 野 鈴 枝	古 屋 雅 夫
第69号	山梨市公民館設置及び管理条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第70号	山梨市立保育所設置及び管理条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第71号	山梨市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第72号	山梨市営定住促進住宅設置及び管理条例の一部を改正する例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第73号	平成28年度山梨市一般会計補正予算(第2号)	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第74号	平成28年度山梨市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第75号	平成28年度山梨市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第76号	平成28年度山梨市浄化槽事業特別会計補正予算(第1号)	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第77号	平成28年度山梨市介護保険特別会計補正予算(第1号)	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第78号	平成28年度山梨市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第79号	平成28年度山梨市活性化事業特別会計補正予算(第1号)	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第80号	平成28年度山梨市水道事業会計補正予算(第1号)	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第81号	字の区域の変更について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第82号	平成27年度山梨市一般会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	認定
第83号	平成27年度山梨市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第84号	平成27年度山梨市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第85号	平成27年度山梨市交通・火災災害共済事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第86号	平成27年度山梨市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第87号	平成27年度山梨市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第88号	平成27年度山梨市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第89号	平成27年度山梨市居宅介護予防支援事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第90号	平成27年度山梨市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第91号	平成27年度山梨市活性化事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第92号	平成27年度山梨市水道事業会計決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第93号	平成27年度山梨市病院事業会計決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第94号	山梨市民総合体育館アリーナ改修建築主体工事請負契約について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
請願 第1号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	反	審 査 続
請願 第2号	所得税法第56条廃止意見書の提出を求める請願書	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	審 査 続

※古屋弘和議長は採決に加わりません。



**問** 平成27年度一般会計決算状況と財政健全化状況について

①決算額の引き上げ要因について伺いたい。②中期財政見通しはどのようになるのか伺いたい。③実質公債費比率がマイナスの理由と、将来負担比率が上昇した理由について伺いたい。

市長 望月清賢

**答**

①歳入は地域住民生活等緊急支援助交付金と社会資本整備総合交付金の増額、旧合併特例事業債及び過疎対策事業債の借入額の増額などによる。歳出は、山梨市駅南地域整備、市民会館・図書館大規模改修、中学校工アコン設置、ふるさと納税の基金積立により決算額が引き上げになった。②地方交付税が段階的に減少し、自主財源の急速な増額は見込めないが、歳出の需要は増大、複雑化していく。最

小経費で最大効果が得られるように効果的で効率的な行財政運営に取り組む。③実質公債費比率は、長期の借入金やそれに準ずる債務が、市の標準的な収入に対して減額となったため、マイナスになり、将来負担比率の上昇は、地方債の現在高の増加や広域行政事務組合等への負担金見込額の増加が主な要因と考える。

**問** 市立産婦人科医院の運営面について

出産と産後ケアの受入れ許容数と健全経営のための方策について伺いたい。

市長 望月清賢

**答**

1000件程度の分娩、入院が可能であるが、実際にはその約70%を予測している。立地条件への配慮と産後ケアができる体制の組み入れにより、利用者は増える見込みである。また、施設と事業の紹介を広く周知していく。

**問** 土砂災害や水害に対する取組について

想像を超える災害による犠牲者を出さないため、的確で素早い情報提供が求められるが本市の取組について伺いたい。

市長 望月清賢

**答**

県内市町村では初となる民間気象会社の事業サポートを取り入れ、「水防対策支援システム」を導入した。ピンポイント（山梨地域、牧丘地域、三富地域に区分け）情報が得られ、時間雨量も予測できるため、的確な情報を発信することが可能となった。精度向上のため、本市独自の雨量計の設置も視野に研究する。

**問** 第二次水道ビジョンについて

①給水量が減少する中、市川浄水場建設の必要性について伺いたい。②達成度の低い旧水道ビジョンの分析と今後の見通しについて伺いたい。

市長 望月清賢

**答**

①水源は、表流水と地下水の割合が1対1が望ましい。今後の給水量に関する様々な要因を調査研究し対応していく。②水道審議会を定期的開催し、経営や財政状況などを検証し、料金体系の見直しなどを審議していただく。その答申や水道ビジョンと照らし

合わせ適切な業務を行い、市民の信頼をより深める経営を行っていく。

〈その他の質問〉

- 市政課題に取組む戦略会議について
- 大平牧場への太陽光発電設置について
- 市役所庁舎等、公共施設の防犯対策について
- 特定空き家に対する本市の対策について
- 高齢者見守りサービスについて
- 農業関連施策の評価と今後の展望について
- 学校給食センターの総事業費と運用について





**問** 生活困窮者の自立支援について

生活に困窮している人に、包括的な支援を行う生活困窮者自立支援制度が始まっている。先進地事例では、生活困窮になった原因を共に考え、自立の道を探る取組が始まっているが、本市における取組状況について伺いたい。

市長 望月清賢

**答** 福祉課内に山梨市生活相談支援センターを設置し、相談に対応している。また、関係課などとの庁内連携を密にすることで、生活困窮者の早期発見と支援を行うための体制をとっている。今後は、地域の福祉関係者と連携を深め、生活困窮者を孤立させない地域づくりにつなげていきたいと考えている。

**問** 甲武信水の森ユネスコエコパーク登録について

6月定例会でも「県と連携して課題解決に努める」と答弁があったが、エコパーク登録に向けて今後の取組と進捗状況について伺いたい。

市長 望月清賢

**答** 広報やまなしやテレビ・新聞など、さまざまな媒体を利用して市民に情報を開示し、登録に向けた機運の醸成に努めている。地域課題についても、自然の保存や有効活用、過疎・高齢化問題への対応や、シカの食害対策についても対応していきたい。本年10月に申請書を提出し、平成30年の登録を目指すし、県・関係市町村とともに、検討を重ねたいと考える。



▲山梨市駅南北自由通路

**問** 駅南口整備と駅周辺の活性化について

駅南口の周辺整備に多額の予算が投入されようとしているが、インフラの整備だけでなく、駅北口も含めた駅周辺の活性化にも行政として進んで指導すべきと考えるがいかがか。

市長 望月清賢

**答** 山梨市駅を中心とした総合的な「まちづくり」について、さまざまな方向から検討し実施していく。地域の活性化についても、官民協力し事業展開すること、企業立地も検討している。南口整備の一面には、地域住民等が活用できるスペースの確保も計画している。

**問** 河川・水路の占用料について

河川や水路に橋や蓋などを設置して、私有地への出入りに使用する場合、占用料が発生するが、本市の占用の件数と金額を伺いたい。また、公平性を欠くことのないような制度をお願いしたいと考えるがいかがか。

建設課長 小池正樹

**答** 法定外公共物管理条例に基づき、占用料として、1㎡あたり年額60円を納付していただいている。件数と料金は、個人が584件、18万1千円余、企業・法

人等が92件、7万9千円余である。今後は市民の負担軽減や公平性を考慮し、新規住宅建築の増加を図る上でも、制度の見直しや減免制度について検討していきたいと考える。

〈その他の質問〉

●SROI(社会的投資収益率)導入について ●強固な地盤を活用した定住促進について



▲法定外公共物の構造物



**問** 旧畑地帯総合整備事業農道38号線の取組について

当初予算で調査費を計上しているが、今年度に入り、市としてのような協議が進められているのか、また、今後どのように進めていくのか市の考えを伺いたい。

市長 望月清賢

**答** 今年度の予算に測量調査費を計上したので、地盤や高低

差などの調査を行い、その結果に基づき線形を検討し、地元を示すなかで、概略ルートの決定をしていきたいと考える。事業の実現に向けては、国・県に対し、新たな農道整備事業の創設を要望し、財務大臣及び地元選出の国会議員を訪問し、事業の実現に向けお願いをしてきた。今後は、現在進行中の県営事業の進捗状況と財政状況を見るなかで、長期的にはなるが、実現に向け

積極的に取組んでいく。

**問** 生活困窮者学習支援の取組について

生活困窮世帯などで希望する、主に中学生に対し、NPO法人に委託して学習支援を実施していることであるが、現在までの利用者数と取組状況及び実施している中で見えてきた課題について伺いたい。また、今後拡充すべき支援策を考えているのか伺いたい。

福祉課長 窪川明彦

**答** 利用者数は、現在まで延べ28回開催し、利用者は9人である。取組状況は、子ども達の居場所づくりを目的とし、単に学習の指導だけでなく、近い将来の高校生活をイメージするため、高校の学園祭に参加し、体験すること、今後の目標づくりを行うなど、様々なプログラムを用意している。課題については、今年度、開催場所を拡充するための準備を行っているが、学習支援の人材の確保をどのようにするか大きな課題である。支援策については、今後、開催場所の拡充とともに、進学後の経済的な負担を軽減させるための取組が必

要と考える。

**問** 市川保育園の廃園、及び休園中の保育園の取扱について

①市川保育園を廃園するにあたり、地域関係者への説明が行われ、地元の理解は得られたが、市では廃園後の施設の活用をどのように考えているか伺いたい。②市川保育園以外にも休園中となっている4つの保育園について、市川保育園と同じような考えか市の考え方を伺いたい。

子育て支援課長 望月好也

**答** ①民間事業者から、福祉関連施設としての利用について要望があり、現在、関係課において調整中である。方向性が定まった時点で、地域関係者に説明し、より良い活用を図り地域活性化に繋げていきたいと考える。②利活用の要望等があった時点で、地域の実情を鑑み、地域関係者のご意見を伺いながら、資産等活用戦略会議において、協議・検討していきたいと考える。

**問** ふるさと名物応援宣言の取組状況について

ももどぶどうに関連するふるさと産品の応援宣言により、具体的にどのようなメリットが民間事業者に得られるのか伺いたい。

商工労政課長 菊嶋茂

**答** 市町村が、ふるさと名物応援宣言をすることで、民間事業者が取組む地域産業資源活用事業計画の認定や補助金など、国の支援の審査において、優先的に採択されることなどが、メリットとして挙げられる。

〈その他の質問〉

●第2次山梨市まちづくり総合計画の取組状況について ●山梨市強朝化計画について ●第2次山梨市水道ビジョンにおける今後の水道事業の経営方針について ●2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた本市の取組について ●市立産婦人科施設における産前・産後サポートの取組について



▲市川保育園

## 一般質問



根津和博 議員

山友会

**問** 山梨市環境センター及び東山梨環境衛生センターの今後について

①両施設の閉鎖に向けたスケジュールを伺いたい。②ごみ処理場移転に伴い、既存のごみ袋で収集が行えるのか伺いたい。③収集日は各地域で変わるのか伺いたい。④中継施設の整備スケジュールについて伺いたい。

市長 望月清賢

**答** ①平成29年3月末までに閉鎖となり、平成29年度内の解体撤去を予定している。②東山梨環境衛生組合が作製したごみ袋は、本年11月1日より山梨地域で使用している市指定のごみ袋に変更になるが、在庫分については11月1日以降も使用ができる。③山梨地域は変更はないが、牧丘・三富地域は本年11月1日から、燃えるごみの収集回数を週2回から1回増やし週3回とし、収集日を、牧丘地域は月・水・金、三富地域は火・木・

土に変更する。燃えないごみは変更はない。④関係する区や区民の皆様に必要な説明を行ったうえで、中継施設を平成30年度の完成を目指し、整備していきたいと考えている。

**問** ポケモンGOの活用について今後の活用やルール作りについて伺いたい。

観光課長 穂野今朝貴

**答** 笛吹川源流まつりにおいて、ポケモンGOを活用したイベントを行った。今後は、これらの実施結果を検証し、ポケストップの多い万力公園を中心に活用を研究していきたいと考える。安全対策については、利用者のモラルを徹底させる注意喚起や、市外の利用者がわかりにくいポケストップの危険箇所について啓発を検討する。

＜その他の質問＞

●リモートスクリーニングについて



▲環境センター



矢崎和也 議員

新翔会

**問** 本市におけるICT教育への今後の取組と考え方について

国が策定した「教育の情報化加速化プラン」では、教育現場でのICTの効果的な活用を行うこととされているが、本市での取組と考え方について伺いたい。

市長 望月清賢

**答** 本市では、笛吹小学校において、昨年度25台、今年度20台のタブレットを整備し、さらに来年度から3年間、同小学校を市のICT教育推進モデル校に指定し、一人一台のタブレット配備等、ICT教育環境の充実を図っていく。学習支援においては、子供たちの授業への興味・関心を高め、「確かな学力」の定着につなげる。校務支援では、システム整備を推進し教員の負担を軽減し、子供たちと向き合う時間の確保を図っていく。さらにその成果を踏まえ、将来的には市内の全小・中学校にICT環境の整備を進めていく。

**問** 新市立図書館の運営について新市立図書館の運営方針について伺いたい。

生涯学習課長 中村貴仁

**答** 新図書館は人と人、子供と本など幅広く「つながりの生まれる図書館」をコンセプトに運営していく。児童スペースやインターネット環境の充実を図り、新たに整備した多目的室を利用した展示会、ミニ講演会等を企画し、人が集まり交流できる図書館を目指す。また、職員のスキルアップや図書館ボランティアとの協働により気持ちよく過ごせる雰囲気づくりに努め、多くの市民の皆様にご利用していただける図書館にしたいと考えている。



▲タブレットを使用した授業風景

## 一般質問



深沢敏彦 議員

市民の会

**問** 主要河川の維持管理の徹底について

大規模河川の管理徹底による流域住民の生命の安全確保を、流域市と共同で国、県に求めていただきたいが市の考えを伺いたい。

市長 望月清賢

**答** 国と県が管理している本市の主要河川敷内は、雑木の繁茂が著しく、河川流下能力の低下や二次災害が懸念される。国管理区域では、本年、笛吹川の亀甲橋下流・根津橋下流・桑戸橋下流と日川の日川橋下流で、伐採が予定されている。今後も、他の一級河川を含め、整備が必要な箇所を把握し、関係市と協議して、国と県に対して要望していく。

**問** ジェネリック薬品の普及拡大の低迷について

①本市のジェネリック薬品拡大の状況と要因について伺いたい。②本市の医療環境や窓口無料化の影響は

ないのか伺いたい。③今後の普及拡大に向けての対策について伺いたい。

市民課長 日野原ちどり

**答** ①本市の数量シェアは、本年5月現在54%である。現在は、ジェネリック医薬品希望シールの配布等や、医師まかせになりがちな薬選びを、ジェネリック医薬品の低価格や安全性の情報発信により、使用率の向上に取組んでいる。②本市の医療環境は、大変恵まれた状況にある一方、一人当たりの医療費が県内他市町村と比較して高額である。その要因は、ジェネリック医薬品利用の意識が低く、窓口無料化の対象である若年層の使用割合が低い。保護者の理解と意識向上への取組が今後の重点課題であると考えられる。③今後は、関係と連携を図り、薬局への重点的な協力要請などにより、ジェネリック医薬品普及拡大の啓発に努めていく。



▲河川の維持管理



古屋雅夫 議員

市民の会

**問** 学校給食費の無料化及び入学支援の充実に向けて

(1)「学校給食費の無料化」を提案する。その理由は、①「給食センター」建設メリット(財政上の効果)を市民・保護者に還元できる。②少子化対策や定住・移住等人口対策にも繋がる施策となる。(2)入学助成制度は平成23年度までに生まれた第3子を対象に、小学校入学時に「支度金」として3万円が支払われている。しかし平成30年度には廃止となり、子育て環境が厳しい状況の中で、まずは本制度の延長と第2子までの支援の拡大を求めるが市の考えを伺いたい。

市長 望月清賢

**答** (1)給食費の無料化については今後他市の動向等を踏まえ、多面的に検討していく。(2)第3子以降の支度金の延長と第2子までの支援拡大を含め検討していく。

**問** 学校教育環境の整備に向けて「きめ細かな教育の推進」に向けた課題である。①吹奏楽部の楽器等備品の整備、プールの大規模改修並びにICT環境の整備等。②教育課程到達確認検査(校長会テスト)の近隣自治体同様に公費負担を求める。③財政面での対応策としては本年度新たに寄付金を原資とした「ふるさと輝き基金」が創設された。その基金活用により「教育環境の整備」を行うことを提案するが市の考え方を伺いたい。

教育長 市川今朝則

**答** ①高額楽器の購入は「高額楽器購入助成制度」を創設し課題対応できるよう検討していく。②「校長会テスト」は今後、公費負担とする。③「ふるさと輝き基金」の活用は「学校教育の充実」が寄付金の用途にもあたることから、可能と考える。

＜その他の質問＞

●第2次水道ビジョンと水道使用料等について



▲山梨北中「光輝祭」

## 一般質問

**問** この計画道路と並行している都市計画道路山梨市駅南線とは、数メートルしか離れていないが、同じような道路が必要なのか伺いたい。

**市長 望月清賢**

**答** 両都市計画道路の間隔は、約200mである。県が整備を行う幅員17mの都市計画道路山梨市駅南線は、山梨市駅周辺の中心市街地と中央自動車道一宮御坂インターチェンジを結ぶ幹線道路として、都市拠点との連絡及び広域的な通過交通処理の役割を担っている。一方、本市が整備を進める都市計画道路加納岩小学校西通り線は、通勤、通学を中心とする駅南口への連絡道路の機能と、駅南地域の市街地形成、防災対策上の骨格的道路の役割など多くの機能を持つ主要生活道路で、道路ネットワークにおいて、それぞれ重要な役割を担っている。回遊道路と



小野鈴枝 議員

市民の会

なる加納岩小学校前通り線との接続も合わせ、駅南地域の交通、安全、防災などを考慮した適正な配置と考えている。駅南広場から南側の加納岩小学校西通り線及び加納岩小学校前通り線は、地域の皆様や関係者の方々からも早期事業着手に向け、強い要望をいただいている。また、交通結節点である駅を中心とした重要な道路ネットワークの構築を図り、行き止まりの道にならないよう早期に事業を進めていきたいと考えている。

### その他の質問

●万力公園のアカマツ対策について  
●夏休み明けの子どもの自殺について



▲加納岩小学校西通り線予定地



吉田昭男 議員

日本共産党

**問** 子どもの貧困化解決に自治体として出来る最大の努力を

①スクールソーシャルワーカーの適正配置と相談体制の充実を望むがいかがか。②市長を責任者とする貧困対策部局の設置を望むがいかがか。③学習支援が中学生を対象にしているが、小学校高学年まで拡大し、制度を広く知らせることを望むがいかがか。④学校給食を無料にすることを望むがいかがか。⑤就学援助を新入学児童、生徒の学用品等購入に役立つよう3月支給にするための条例改正を望む。また、支給対象にクラブ活動費等を加えることを望むがいかがか。⑥フードバンク等への支援を求めたいがいかがか。

**市長 望月清賢**

**答** ①峡東教育事務所にて2名配置されている。県に対し、相談体制の充実を図るべく適正配置を要望していく。②今後、研究していく。③小学校高学年については、全児童を対象としたフォローアップ

教室を実施している。対象家庭の児童には、積極的に参加するよう支援していく。制度を広く知らせることは難しい面があるが、努めていきたい。④取り巻く状況を勘案し、多面的に検討していく。⑤3月支給については、他市の状況も勘案し研究課題としていく。特に支援を必要とする家庭には、前向きに検討する。また、クラブ活動費等の支給については、県内他市の動向等を注視していく。⑥これまでも随時、連携協力を行ってきた。今後、どのような支援が可能か研究していく。

### その他の質問

●地球温暖化防止策について  
●すべての国保加入者に正規保険証の交付を  
●上水道の諸費用の個人負担について



▲日下部小学校の運動会

## 一般質問



雨宮 巧 議員

市民の会

**問** 校舎跡地利用について

3 小学校跡地利用は、6 月定例会において、戦略会議を設置し、有効活用を図ると答えている。廃校を活用した企業誘致で、地元雇用で成功した事例もある。制度作りも併せ、基本構想を伺いたい。

市長 望月清賢

**答** 新たな庁内検討組織となる「戦略会議」において、廃校となった3校舎跡地利用を優先的に検討する。地域コミュニティーの拠点であったこと、地域の実情と費用対効果及び地域の活性化に資する活用策を推進していく。提案頂いた企業誘致も活用方策として検討している。地域の考えも聞き、活性化に向けた方針を確認後、基本構想を作りお示しする。

**問** 乙女湖周辺整備とマイカー規制について

乙女湖から大池峠間のシャトルバス乗客は増加傾向にある。柳平分校

を駐車場とシャトルバスターミナルにできないか伺いたい。また、シャトルバスは、乙女高原、シラベ平鷄冠山・甲武信岳展望ライン、大池峠線とコースは多彩である。乙女湖に滞留人口が生まれることとマイカー規制により、環境保全と観光振興が図れないか伺いたい。

観光課長 穂野今朝貴

**答** マイカー規制し、シャトルバスの運行は、自然環境の保護と乙女湖を中心とした観光資源の活用として、有効と考えるが、県や川上村との協議のほか、官民での協議が必要となる。また、その他のシャトルバス運行についても、先進地事例を踏まえ、調査・研究を行っていく。



▲廃校舎の跡地利用



木内健司 議員

公明党

**問** 福祉関連施設の安全・安心確保について

神奈川県や岩手県の福祉関連施設での事件・事故を受け、市としてどのように安全・安心の確保を行っていくのか。

市長 望月清賢

**答** 各事業所の非常災害対策について点検し、関係機関・地域住民等との連携強化を一層図るよう指導を行い、利用者の安全確保を図っていく。また、人的要因に起因する事件の発生抑止のため、防犯体制の強化を図るほか、介護職員のストレス対処、入所者への対応等を含む、こころの健康づくりを支援していく。

**問** 農作業中の事故防止について

県内で農作業中の事故が多発しており、対策を強化する必要があると思うがどうか。例えば、防災行政無線を使用し、適期適時に事故防止を呼び掛けてはどうか。

農林課長 古宿昌士

**答** 市では広報やまなしを通じ、農作業時の注意点をあげ、注意喚起を行っている。また、農業委員の日頃の活動の中で、担当地域を中心に注意喚起をしていたり、JAF ルーツ山梨においても、CATVや組合員向けの広報誌、共選所への掲示、講習会などで注意喚起を行い、事故防止に取り組んでいる。今後、これらの対策と併せ、春と秋の農作業安全確認運動の期間中に、防災行政無線も活用し、より効果的な啓発に努めていく。

＜その他の質問＞

●市役所本庁舎西館の設備改修について



▲農作業安全確認運動

決算特別委員会

付託議案

議案第82号	平成27年度山梨市一般会計歳入歳出決算認定について
議案第83号	平成27年度山梨市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
議案第84号	平成27年度山梨市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
議案第85号	平成27年度山梨市交通・火災災害共済事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第86号	平成27年度山梨市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第87号	平成27年度山梨市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第88号	平成27年度山梨市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
議案第89号	平成27年度山梨市居宅介護予防支援事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第90号	平成27年度山梨市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第91号	平成27年度山梨市活性化事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第92号	平成27年度山梨市水道事業会計歳入歳出決算認定について
議案第93号	平成27年度山梨市病院事業会計歳入歳出決算認定について

決算特別委員会

- ◎矢崎 和也 ○根津 和博
- 乙黒 泰樹 村田 浩
- 木内 健司 大村 政啓
- 小野 鈴枝

出されるので、ごみの減量化に寄与していると感じている。また、昨年度、報償金の額と対象品目を見直し、多くの市民にリサイクルステーションを活用していただいている。来年度から、甲府・峡東地域ごみ処理施設も稼働するが、ごみの持ち込み量も各市の負担に反映されることから、リサイクルステーションの活用について、更なる推進を図っていく。

〈要望事項〉

- 1 昨年度から、普通交付税が段階的に削減されていることから、市民サービスの向上に資するため、事務事業及び予算の精査に努めること。
- 2 昨年度から地方創生交付金が入ったが、「目に見える地方創生の実現と地域の活性化」に向け、更なる自主的、主体的な事業実施を全庁、縦横無尽に取組むこと。
- 3 市債については、市債残高の着実な減少に向け、今後も将来負担の軽減に努めること。
- 4 市税などについては、収納努力により不納欠損処理は前年度より減少したものの、依然として多額であり、収入未済額も増加している。税の公平性を確保する観点から、不納欠損額の減少に向け、さらなる努力をされたい。また、市税など自主財源の確保に努めるとともに、さらなる行財政改革の推進を要望する。

**問** 耕作放棄地対策事業の内容及び青年就農給付金事業の内容及び実績について伺いたい。

**答** 耕作放棄地対策事業は、国の構造改革特別区域法により、山梨市農地いきいき特区に認定され、遊休農地を活用し、地産地消による野菜栽培や農業体験により都市農村交流を行ったものである。また、青年就農給付事業は、農業経営者になる強い意欲を持っている45歳未満の新規就農者に、農業経営が軌道に乗るまでの5年間支援する内容のものと、市の単独事業で親などの後継者として就農した45歳未満の就農者に対し、最長3年間給付をする親元就農支援補助金がある。給付後の就業率も、皆継続しており順調である。なお、親元就農支援補助金の年齢要件は、青年就農給付金の年齢要件に合わせたものであり、公平性を保つため、同一の年齢要件とした。

**問** 若者定住促進支援基金があるが、条例上、三富地域に定住する場合のみ住宅建設に助成しているが、実態に合わせ、山梨市内に定住するよ

**問** う範囲の拡充や年齢要件の緩和について検討すべきと考えますが、市としての考えを伺いたい。

**答** 以前から三富地域に限定していたのは、どうかとの指摘はあった。また、この制度の助成対象者は、過去3件となっており限定的である。以上のことを踏まえ、今後、検討していきたい。

**問** 公設民営として推進していく産婦人科医院のコンセプトとして、最も大切にしている点は何か、市としての考えを伺いたい。

**答** この施設の設置により、市内の周産期医療の継続した存続と充実を実感していただくことが最も大切だと考えている。この地道な取組により、市民が分娩、産後の安心を得て、2人目、3人目の出産につながり、長期的には、定住人口の増加にもつながっていくものと考えている。

**問** 給食費の無料化について、全国的にはいくつかの自治体で動きがあるが、市として検討しているか伺いたい。

**答** 本市で給食費の無料化を実施する場合は、1億7千万円以上の財源が必要であり、この部分をどうするかという課題もあるが、少子化対策等としては有効な政策手段であることは、間違いのないことであると考えている。今後、他市町村等の動向を注視しながら、多面的に研究していきたい。

**問** 防災面での機能が期待される衛星携帯電話が8台あるが、どこに設置されているのか、また、この決算の経費はどのようなものか伺いたい。

**答** 設置場所は、本庁、牧丘支所、三富支所に設置しており、切差区、牧平区、北原区、徳和区、川浦2区の各区に1台ずつ貸与しており、防災時の通信手段として活用することを目的としている。また、経費については、年間の通信基本料金である。

**問** リサイクルステーションの報償金を各地区へ支給しているが、市としてごみの減量化に寄与していると感じるか。また、今後も、この報償金は続けていくのか、考えを伺いたい。

**答** リサイクルステーションに持ち込まれなければ、ごみとして

総務常任委員会

付託議案

議案第71号  
山梨市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について

議案第73号  
平成28年度山梨市一般会計補正予算(第2号) 関係付託部分

議案第74号  
平成28年度山梨市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

議案第94号  
山梨市民総合体育館アリーナ改修建築主体工事請負契約について

請願第2号  
所得税法第56条廃止意見書の提出を求める請願書

総務常任委員会

◎武井 寿幸 ○木内 健司  
三枝 正文 村田 浩  
古屋 忠城 古屋 雅夫

**問** 195人の団員定数削減と  
のことであるが、何か参考と  
なる基準があるか。また、大きな  
災害等も想定して、団員定数の見  
直しを検討したのか伺いたい。

**答** 参考となる基準は、国で示  
す消防力の整備指針を各市町  
村で参考とし算定しているが、最  
終的には各市町村の地域性を考慮  
することとなっている。改正前の条  
例定数は、合併前の各市町村の定  
数を足し合わせたものであり、今  
回の条例定数改正は団員の消防活  
動だけでなく、災害時避難誘導人  
員等の加算などを、現状の団員勢  
力数と併せ算定したものである。  
実情に合った団員定数の見直しを  
することで、公務災害補償等、団  
員の掛金の無駄使いを解消するも  
のである。

**問** 加納岩分団第5部の消防詰  
所用地の取得費等について、  
敷地、建物面積及び地元の負担割  
合はどのくらいか伺いたい。

**答** 敷地面積は公図上約184  
㎡、建物面積は概ね60㎡を予

定しており、今年度中の取得を目  
指している。また、地元負担割合は、  
地元、市それぞれが2分の1となっ  
ている。

**問** 市内の医療は非常に恵まれ  
た環境にあるが、近年の医療  
費がどのように推移しているか伺  
いたい。

**答** 近年の国保加入者の医療費  
は一人当たり、平成25年度32  
万7千円余、平成26年度33万9千  
円余、後期高齢者医療制度加入者  
の医療費は一人当たり、平成25年  
度87万3千円余、平成26年度90万  
1千円余となっており、万円単位



▲総務常任委員会での審査の様子

で増加している。要因は、高齢化及  
び人工透析や新たにC型肝炎治療  
が保険適用になったことなどが考  
えられる。

**問** 医療費の抑制のため、ジェ  
ネリック医薬品等の使用の啓  
発、普及も医療費の抑制に役立つ  
と思うがどのように取組んでいる  
のか伺いたい。

**答** ジェネリック医薬品の普  
及・啓発は、今後、市内薬局  
など関係機関と連携を図り取組ん  
でいく。

**問** 山梨市の指名入札業者は、  
Aランクの業者が6社あるこ  
とは承知しているが、今回の場合、  
どのような業者が共同企業体を組  
めるのか、その条件等について伺  
いたい。

**答** 今回のアリーナの改修は、  
建築主体工事の代表構成員が  
甲府市の業者である。参加資格の  
条件と業者数は、経営審査におい  
て1,000点以上の業者が6社あ  
り、共同企業体を組む市内の業者

は、A・Bランク関係なく、経営審  
査において750点以上の業者は  
7社ある。この組み合わせにより、  
3共同企業体の申し込みがあり、  
このうちの1企業体が落札した。

**問** 工期については、いつまで  
になるのか伺いたい。

**答** 工期に関しては、今議会で  
可決されたのち、速やかに契  
約し、平成29年3月15日までとなっ  
ている。

請願第2号は継続審査と決定した。  
現地調査として、牧丘庁舎の視察  
を行った。



▲牧丘庁舎の視察

建設経済常任委員会

付託議案

- 議案第72号 山梨市営定住促進住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例について
- 議案第73号 平成28年度山梨市一般会計補正予算(第2号) 関係付託部分
- 議案第75号 平成28年度山梨市下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 議案第76号 平成28年度山梨市浄化槽事業特別会計補正予算(第1号)
- 議案第77号 平成28年度山梨市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 議案第78号 平成28年度山梨市活性化事業特別会計補正予算(第1号)
- 議案第79号 平成28年度山梨市水道事業会計補正予算(第1号)
- 議案第80号 平成28年度山梨市水道事業会計補正予算(第1号)
- 議案第81号 字の区域の変更について

モ、ブドウである。

**問** 山梨県農地中間管理機構と  
はどのような組織か。また、  
機構からの歳入金額の基準及び使  
用目的は何か伺いたい。

**答** 山梨県農地中間管理機構と  
は、農地の貸し手と借り手を  
取り持つ役割を果たす機関である。  
借り手の希望に合った農地情報を  
提供したり、効率的に契約ができ  
るなどのメリットがある。また、歳  
入金額については、限度額であり、  
機構から委託された業務量が増加  
したことにより、事務処理のため  
の人件費に充てる。

**問** JAFフルーツ山梨直販セン  
ターに設置する長期鮮度保持  
施設の内容、対象果樹について伺  
いたい。

**答** 後屋敷共選所を後屋敷直販  
センターとして、既存の保冷  
庫内の壁面にシート状の設備を設  
け、電気的作用により長期的に果  
樹の鮮度を保持できるようにする  
ものである。対象となる果樹は、モ

**問** 市道落合正徳寺線道路改良  
に伴うJR東日本との協定に  
ついて、債務負担行為を取る理由及  
び協定の範囲について伺いたい。

**答** 事前に債務負担行為を取ら  
なければJR東日本と協定を  
結ぶことができず、事業のスケ  
ジュールから逆算すると、議決後  
すぐにも協定を結ぶ必要がある。  
また、協定の範囲については、線路  
直近の橋脚2か所および2径間であ  
る。



▲建設経済常任委員会での審査の様子

**問** 橋梁長寿命化及び耐震化事  
業について、現在の進捗状況  
について伺いたい。

**答** 市が管理している378橋  
のうち、優先順位を定めて平  
成26年度から着手し、これまでに  
5橋の工事が終了している。路線  
の重要度や橋の点検結果を踏まえ、  
大きい橋から着手しているため、  
今後事業ペースは上がっていく。

**問** 観光宣伝事業経費の広域観  
光周遊ルート形成推進事業の  
内容について伺いたい。また、補正  
予算については今後観光周遊ルート  
を決定していくための予算計上なの  
か、この事業において山梨県から補  
助金を受けられるのかを伺いたい。

**答** 東京都など11都県で関東観  
光広域連携事業推進協議会を  
構成しており、協議会への負担金  
などを予算計上している。山梨県  
から補助金を受けることはできな  
いが、協議会に加入することによ  
り、サイクリング観光のPRやイン

建設経済常任委員会

- ◎根津 和博 ○土屋 裕紀
- 矢崎 和也 大竹 裕子
- 飯嶋 賢一 雨宮 巧

バウンド観光プロモーション費用  
の1/2について国から助成を受  
けることができる。チャレンジミ  
ッションでスポーツツーリズムやオ  
リンピックに向けたセールスコー  
ルを実施する費用の大幅な削減が  
期待できる。

**問** 字の区域を変更するにあ  
り、地権者との合意を図つて  
あるのか、また、市内の他の区画に  
についても、字をまとめていくのか伺  
いたい。

**答** 区の役員会や区画の対策委  
員会などで説明する中で何案  
か提示し、地元の合意を得たうえ  
で決定したものである。また、今後、  
通常の行政においては、字をまと  
めることはないと思われる。

現地調査とし  
て、市道落合  
正徳寺線のJ  
R施行計画部  
分の視察を  
行った。



▲建設経済常任委員会視察

# 委員会報告

## 教育民生 常任委員会

### 付託議案

- 議案第69号
- 議案第70号
- 議案第73号
- 議案第77号
- 請願第1号

山梨市公民館設置及び管理条例の一部を改正する条例について  
 山梨市立保育所設置及び管理条例の一部を改正する条例について  
 平成28年度山梨市一般会計補正予算(第2号)関係付託部分  
 平成28年度山梨市介護保険特別会計補正予算(第1号)  
 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書

### 教育民生常任委員会

- ◎ 深沢 敏彦 ○ 乙黒 泰樹
- 古屋 弘和 大村 政啓
- 吉田 昭男 小野 鈴枝

**問** 山梨市立保育所設置及び管理条例の改正に関連して、市川保育所が廃園とのことであるが、現在休園中の、杣口、倉科、西保、三富、各園の今後の見通しと、廃園後の施設の活用について伺いたい。

**答** 杣口、倉科、西保、三富保育園は、休園になっているが、各園共に管内地域の子どもの数が増える可能性は、大変厳しい状況であり、市川保育園同様に、廃園の可能性はある。施設の活用については、民間業者などから要望があった時点で、地域関係者のご意見を伺いながら、資産等活用戦略会議において検討していきたい。

**問** 岩手小学校は生徒数が減少しているが、教育現状を伺いたい。

**答** 現在、岩手小学校に限らず、市内全体で子どもの数は減少傾向にある。岩手小学校は、全校児童35名であり、複式学級はなく市単教員を配置し、1学年1人の教師が教えている。

**問** 山梨市民会館耐震及び大規模改修、市立図書館整備工事が完了し、10月15日に市民会館、11月3日に市立図書館のリニューアルオープンを予定しているが、オープンに向け、どの程度準備が進められているか伺いたい。

**答** 山梨市民会館及び市立図書館は、既に8月末で工事は終了している。現在、市民会館は、備品の搬入を進めている状況であり、図書館は、改修前に搬出した図書を搬入し、配架している状況である。



▲教育民生常任委員会での審査の様子

**問** 地域介護・福祉空間整備推進事業経費について、介護ロボット補助金との説明があったが、介護ロボット何台分で、初の事業なのか。また、今後、継続する事業なのか伺いたい。

**答** 地域介護・福祉空間整備推進事業経費は、初の事業であり、国からの補助と示されているが、今回、市内では2つの法人が1台ずつ導入する計画で、介護ロボット2台分の補助金となっている。今後は、介護者の負担も強いられる状況が踏まえ、この事業が継続する可能性がある。

**問** 介護保険は、特別会計で運用されているが、現在の介護保険特別会計の運営状況を伺いたい。

**答** 介護サービスを利用する方は年々増えており、運営状況は、基金から支出するなど、毎年厳しい状況下にある。平成30年度からは、第7期介護保険事業計画を予定しているが、その中で介護保険料についても検討していく必要がある。



▲市立図書館の視察

要がある。  
 請願第1号は継続審査と決定した。現地調査として、山梨市立笛川小学校、山梨市民会館、山梨市立図書館の視察を行った。

# 常任委員会 行政視察研修

## 総務常任委員会

- ① 小学校廃校舎の活用について（新潟県小千谷市）
- ② スマートウエルネスティーみつけについて（新潟県見附市）
- ③ 地域活動支援事業について（新潟県上越市）

【常任委員長所感】

① 統合により廃校となった小学校を民間の企業に貸し出しており、廃校舎の有効利用と地元住民の雇用の場となっている。また、この企業とは災害時の一時避難場所として活用できる協定を結んでいる。

② 国の総合特区指定を受け、食生活や運動等のソフト面に加え、遊歩道整備等のハード面の整備により、「日本一健康なまち」を目指している。成果として、市民の一人当たりの医療費の減少等、目に見えるものとなっている。

③ 地域における課題の解決を図り、各地域の活力を向上するため、市民が自発的、主体的に取組む地域活動に市から補助金を交付している。各地域自治体に地域協議会を設け、採択された事業について事業実施し、細やかな配慮がされている。



## 建設経済常任委員会

- ① 営業する市役所について（静岡県熱海市）
- ② 健康保養地づくりについて（静岡県伊東市）
- ③ 企業誘致について（静岡県長泉町）

【常任委員長所感】

① 民間投資の促進や企業とのパートナーシップ協定締結の推進など、行政が営業を行うことで産業の活性化や観光振興を促進している。プロモーションにあたり、市が積極的に営業していくことは興味深い手法である。

② 医療連携事業として、市民病院の人間ドックと民泊を組み合わせたモーターツアーなどのメディカルツーリズム事業を行っている。本



市のウエルネスツーリズムの推進にあたっては、市内の総合病院との連携が有効であると思われる。

③ 静岡県東部と首都圏・中京圏を結ぶ結節点という優れた立地を生かして、4つの工業団地を造成するなど、積極的な企業誘致を行っている。本市においては、高速道路へのアクセスを良くするなど、都市計画の重要性を感じた。

## 教育民生常任委員会

- ① 地域包括ケアシステム構築に関する取組について（長野県佐久市）
- ② 子育て支援ネットワーク事業の取組について（群馬県沼田市）
- ③ 小・中学校連携教育、NIE教育の取組について（茨城県常陸太田市）

【常任委員長所感】

① 佐久市では、在宅医療24時間体制の整備に向け、佐久医師会のバックアップ体制が整備されている。生活圏ごとに、地域包括ケア委員会を年2回開催している。認知症サポーターは、消防団と市職員が中心になり構成している。

② 沼田市では、子育て支援ネットワーク推進協議会を、民間のNPO法人主体で立ち上げ、運営も行っている。市は、この民間事業



を支援している点が大きな特徴である。

③ 常陸太田市の里美小・中学校連携教育は、過疎対策から出発したが、小・中学校連携教育という試みに地域一体となり取組み成果としている。NIE教育は、身近な新聞掲載記事を話題に、生徒間で意見を出し合い活発に議論している。



# 議会活動日誌

## 9月

- ・平成28年9月定例会(1日～29日)
- ・平成28年度山梨市総合防災訓練(1日)
- ・第11回山梨市総合体育祭り(4日)
- ・市内各中学校学園祭(10日)
- ・新100歳長寿者の慶祝訪問(17日)
- ・第32回山梨市巨峰の丘マラソン大会(18日)
- ・市内各小学校運動会(24日、25日、10月2日)
- ・議会運営委員会(28日、29日)
- ・議員全員協議会(28日、29日)
- ・第69回山梨県体育祭り市選手団解式(30日)

## 11月

- ・焼山峠周辺秋の観光地美化清掃(1日)
- ・甲州市市制施行11周年記念式典(1日)
- ・市立図書館リニューアルオープンセレモニー(3日)
- ・平成28年度西関東連絡道路整備促進期成同盟会総会(4日)
- ・第53回日下部地区社会人運動会(6日)
- ・全国市議会議長会第101回評議員会(9日)
- ・福島県二本松市議会行政視察受け入れ(10日)
- ・都市計画審議会(11日)
- ・秋田県北秋田市議会行政視察受け入れ(16日)

## 10月

- ・第63回甲州市かつめまぶどうまつり(1日)
- ・総務常任委員会視察研修(4日～6日)
- ・つつじ幼稚園運動会(8日)
- ・中牧地区運動会(9日)
- ・牧丘庁舎リニューアルオープンセレモニー(10日)
- ・教育民生常任委員会視察研修(12日～14日)
- ・山梨市民会館リニューアルオープニングセレモニー(15日)
- ・市制施行11周年記念式典(15日)
- ・市道野背坂線開通式(15日)
- ・第46回山梨市中小企業労務改善協議会親善ソフトボール大会(16日)
- ・第60回日川地区老人福祉大会(18日)
- ・西沢渓谷紅葉のPRと環境保全活動(19日)
- ・平成28年度山梨市牧丘地域福祉運動会(22日)
- ・第11回甲州市およっちょい祭り(23日)
- ・建設経済常任委員会視察研修(24日～26日)
- ・岐阜県羽島市議会行政視察受け入れ(25日)
- ・関東市議会会長第1回理事会(25日～26日)
- ・第256回山梨県市議会議長会定期総会(28日)
- ・議会運営委員会(28日)
- ・議員全員協議会(28日)
- ・奥秩秩父大滝紅葉まつり(30日)
- ・山梨・甲州地区戦没者遺族大会(31日)

### 平成28年度山梨県市議会議長会議員 合同研修会(前期)が開催されました

8月10日、アピオ甲府において、平成28年度山梨県市議会議長会議員合同研修会(前期)が、県内13市の市議会議員出席のもと開催されました。この研修会では、同志社大学大学院総合政策科学研究科教授の新川達郎氏を講師に招き、「議会・議員の役割と今後の地域活性化に向けて」をテーマに講演が行われました。



### 編集後記

秋華もひと段落し肌寒い季節となりました。市民の皆様には、お元気で過ごさしめたいと拝察申し上げます。今議会は平成28年度山梨市一般会計補正予算(第2号)や平成27年度山梨市一般会計歳入歳出決算認定を中心に審議・認定が行われました。前回の議会だよりから紙面も大幅に変更され、分かりやすく充実した議会だよりの編集を目指して紙面構成をしております。

是非ご覧いただき、ご意見などお寄せいただければ幸いです。よろしく願い申し上げます。

根津 和博

### 12月定例会開催予定

- 1日(木) 開会
  - 14日(水) 代表質問
  - 15日(木) 一般質問
  - 16日(金)
  - 19日(月) } 常任委員会
  - 22日(木) 閉会
- ※全日程午前10時から開会予定

### 議会だより編集委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 武井 寿幸 |
| 副委員長 | 根津 和博 |
| 委員   | 古屋 弘和 |
|      | 三枝 正文 |
|      | 飯嶋 賢一 |
|      | 深沢 敏彦 |